

日本産ハムシ科雑記 (8)*

中 條 道 夫

香川大学 教育学部 生物学教室

Miscellaneous notes on the Japanese Chrysomelidae (Coleoptera) (8)*

Michio CHŪJŌ

11. V. de MOTSCHULSKY が日本から記録した
ハムシ類 (2)

この小標題の(1)は、日本産ハムシ科雑記(5) (掲載誌は脚註参照) に記したが、それは1857年に発表されたもので、*Heteraspis* (= *Trichochrysea*) *japana*, *Rhaphidopalpa* (= *Aulacophora*) *femoralis*, *Aulacophora nigipennis*, *Arthrotus* (n. gen.) *niger* の4新種が記載されている [(=) 内は現在用いられている属名, (n. gen.) は新属の意]。

ここに紹介するのは、彼の日本のハムシに関する報告としては2番目のものであって、その標題並に概要は次の如くである:

Insectes du Japon (Etudes Entomologique, IX, pp. 4-39 (1860)). 前回の報告 (1857年) は, Elisa GOSCHKEVITCH 夫人(函館駐在のロシア領事の夫人) が, Simoda (伊豆の下田) で採集したものの研究結果であったが, 今回の同夫人が Eddo (江戸) から日本の北にある Sounghar の海峡に至る間で採集したもののうち、主として Khokodody (函館) の一帯で採集したものの研究結果であって、鞘翅目130種余り、鱗翅目約100種 (共に幾多の新属新種の記載を含む) が記述されている。その中でハムシ類は pp. 22-27 に記載又は記録された次に列記するものである [(=) をして示してあるのは、前記同様に現在用いられている属名又は種名, (n. gen.) は新属の意である]: *Crioceris* (= *Lilioceris*) *subpolita* n. sp., *Fidia* (= *Lypesthes*) *atra* n. sp., *Heteraspis* (= *Trichochrysea*) *ja-*

papa MOTSCHULSKY, *Chrysochus* (= *Acrothinium*) *gaschkevitchi* n. sp., *Nodostoma atripes* n. sp. (= *Basilepta fulvipes* MOTSCHULSKY forma), *Nodostoma* (= *Basilepta*) *fulvipes* MOTSCHULSKY, *Nodostoma rufotestaceum* MOTSCHULSKY (= *Basilepta fulvipes* MOTSCHULSKY forma), *Apterosoma* (= *Chrysolina*) *angusticollis* n. sp., *Chrysomorpha quadrangulata* MOTSCHULSKY (= *Chrysolina aurichalcea* MANNERHEIM), *Gallerucida* (n. gen.) *bifasciata* n. sp., *Galleruca*? (= *Sangariola*) *punctato-striata* n. sp., *Agelasa* (n. gen.) *nigriceps* n. sp., *Rhaphidopalpa* (= *Aulacophora*) *femoralis* MOTSCHULSKY, *Agelastica alni* L. var. *coerulea* MOTSCHULSKY (= *Agelastica coerulea* BALY), *Calomicrus*? (= *Calomicrus*) *flaviventris* n. sp., *Cnecodes* (= *Paraluperodes*) *nigro-bilineatus* n. sp., *Liprus punctato-striatus* n. sp., *Arthrotus niger* MOTSCHULSKY, *Crepidodera obscuritarsis* n. sp., *Oedionychis*? (= *Hemipyxis*) *plagioderoides* n. sp., *Argopus nigritaris* FICHER (= GEBLER), *Deloyala* (= *Aspidomorpha*) *difformis* n. sp., 即ち、現在の訂正しないで云えば、2新属・15新種・4新記録種・3既知種と記載を伴わない新しい名 (nomen nudum) 1つで、2新属とは *Gallerucida* と *Agelasa* (共に現在有効な属名)、4新記録種とは *Nodostoma fulvipes* MOTSCHULSKY (原産地は E.

*1): シルビア, IV, 1, pp. 60-64 (Jan. 1933).

(2): 新昆虫, VII, 13, pp. 2-6, Figs. 1-4 (Dec. 1954).

(3): 全上, VIII, 4, pp. 2-6, Figs. 5-7 (April 1955).

(4): 全上, VIII, 6, pp. 2-5, Figs. 8-10 (Sept. 1955).

(5): 全上, IX, 11, pp. 2-5, Figs. 11 (Oct. 1956).

(6): 全上, 3, X, pp. 24-27, Figs. 12-13 (March 1957).

(7): 全上, XI, 13, pp. 2-6, Figs. 1-4 (Nov. 1958).

Siberia の Dauria と Amur), *Nodostoma rufotestaceum* MOTSCHULSKY (原産地は Dauria), *Chrysomorpha quadrangulata* MOTSCHULSKY (原産地は Dauria と Amur), *Argopus nigritarsis* FISCHER (原産地は Barnaul), 3 既知種とは *Heteraspis japana* MOTSCHULSKY, *Rhaphidopalpa femoralis* MOTSCHULSKY, *Arthrotus niger* MOTSCHULSKY (何れも MOTSCHULSKY の前記1857年の論文で日本から新種として記載されたもの。この論文に記載されたもう1つの新種 *Aulacophora nipipennis* MOTSCHULSKY の名は、此の1860年の論文には見られない多分記録漏れなのであろう)。記載を伴わない新しい名とは *Agelastica alni* L. var. *coerulea* MOTSCHULSKY (之は、新変種と判定されたものではあるが、唯、名が与えられたのみで、記載を伴っていないので、学名としては無効であり、後年 (1874) J. S. BALY が、MOOR の横浜に於ける採集品で、MOTSCHULSKY の var. *coerulea* と同じと考えられるものを、MOTSCHULSKY の此の nomen nudum のある事も引証して新種記載したので、爾後此の *Agelastica coerulea* BALY が有効学名とされている)。その他の15種は総て新種として記載されたものである。

此の MOTSCHULSKY の論文は、日本の鞘翅目と鱗翅目の昆虫の多数を、始めて組織的に学界に報告したものであって、日本の昆虫類に関する分類学的研究の重要性と学問的興趣とを広く世界に向けて紹介した、日本の昆虫分類学研究史上極めて貴重な業績とされる。1860年の我が国の歴史年表に記されている主な事項と言えは“万延元年、孝明天皇13年。將軍徳川家茂、安藤信正、老中となる。新見豊前守一行、条約批准交換

のため米艦ポータハン号でワシントンへ行く。護衛の成臨丸も太平洋を渡る。桜田門外の変(大老井伊直弼、水戸浪士に刺殺さる)。横浜を開港する。江戸城下の幼児に種痘を行う。外人殺傷事件多く起る(例えば、ヒュースケン。浪士に切らる)。五品江戸廻し令。徳川斉昭死す”等と云う、漸く文化の曙光の見え初めると同時に、前時代の未開振りの名ごりも未だ著しく、全国的大動乱を経て明治維新(1867~1868年)に到達するのが更にこの数年後であった事を想えば、些かの感慨なきを得ない。

12. V. de MOTSCHULSKY が日本から記録したハムシ類 (3)

前記の論文発表の翌年、その続篇が発表された。その標題や掲載誌等は次の如くである: *Insectes du Japon (Continuation)*. "Etud. Ent., X, pp. 3-24 (1861)."

この論文の中で、ハムシ類に関しては、21~22頁に1未記録種の記録と2新種の記載とが見られる。即ち、*Lithoptera subaenea* MOTSCHULSKY (1860年にアムールから記載発表されたもので、現在では *Chrysolina exanthematica* WIEDEMANN, 1821の synonym とされている)の日本からの初記録と、*Anopachys violaceicollis* n. sp. (現在では *Chrysolina aurichalcea* MANNERHEIM の synonym とされている)及び *Adimonia extensa* n. sp. (現在では *Galeruca extensa* MOTSCHULSKY とされている)は2新種である。前項と同じ孝明天皇の御守、徳川家茂將軍の治世、文久2年に発表された科学論文である。